

## 「解答・解答例等」

選抜区分	2026年度 (選抜区分：編入学試験) 外国語学部 英米学科 (科目名：英語)
<p>解答・標準的な解答過程</p> <p>問題1 次の文を読んで以下の問いに英語で答えなさい。(50点) 問1 Summarize the above text in English. Do not exceed 150 words. (25点) 問1 モデル解答： The text explains how human thinking is different from AI. AI makes answers by using a huge amount of data. It does not feel, reflect, or leave any inner “marks” of thinking. Humans think in a slow, deep way. Artists study, practice, and change their ideas many times. Their work shows the traces of this thinking. When people look at art or join a class discussion, small thoughts appear in their minds. These thoughts happen only once and disappear if we do not record them. AI cannot collect these moments because they cannot be turned into big data. The writer says that the simple fact that a person has thought has a special value. Even if the idea is not big, it matters because a human made it. Knowing this helps us understand why human thinking is important in an age with AI. (148 words)</p> <p>問2 Should AI digital art be exhibited in art museums? Provide at least two reasons to support your answer in English. (2.5点) 問2 モデル解答： AI digital art should be shown in museums, but museums must explain how the art was made. AI art can help people understand new tools. It also helps us think about what “creativity” means today. Museums have always shown new types of art, such as photos and videos, so AI can be the next step. AI art can also teach people about technology. When visitors learn how the system works, they can think about data, choices, and problems in a clear way. This helps the public understand AI better. However, museums should tell visitors how much humans helped the AI and where the data came from. This makes the display more honest. AI art should give people new ideas, but it should not replace the value of human creativity. If museums give clear information, AI art can become a good part of the museum world. (172 words)</p> <p>【解答を導く標準的な過程】(問題1) 要約では、まず課題文の中心論点を正確にとらえることが重要である。文章は、藝術家や鑑賞者が体験する内的思索や沈黙考がどのように「思考の痕跡」として示されるか、そして大量のデータを蓄積して回答を生成するAIとは根本的に異なるという点を述べている。人間の思考は蓄積されず、その瞬間にしか存在しないため唯一の価値を持つという考え方が文章全体の柱となる。ジョン・ケージの例など細部にわたる描写は要約に不要であり、目的だけを示して簡潔に扱うことが求められる。全体の流れは、人間の思考の性質、AIの特性、考えたことが存在する意義という三点に整理し、それらを踏まえて英語で一貫した形にまとめ、150語以内に収める。</p> <p>意見記述の問題では、まず自分の立場をはっきりと示し、その立場を支える理由を二つ以上提示</p>	

することが求められる。理由には簡潔な例を添え、課題文で扱われた AI と人間の創造性に関する議論と自然に結びつけることで説得力が高まる。文章の構成は、主張、理由の提示、結論という基本的な流れに従うと明確になり、読み手にとって理解しやすくなる。また、極端な一般論を避け、根拠を明確に示すことで、論理性と一貫性のある記述となる。

問題 2 次の文を読んで以下の問いに英語で答えなさい。(50 点)

問 1 Summarize the above text in English. Do not exceed 150 words. (25 点)

問 1 モデル解答：

The text explains why many young people in the United States are using public libraries again. They do not go only to read. They also go to study, relax, meet friends, or enjoy the quiet space. Many young people like how libraries look and feel. A library is a free place, and no one needs to buy anything to stay there. This makes it different from cafés.

The text also explains the idea of a “third place,” which means a place that is not home and not work. Libraries are one of these places. They help people feel less lonely and give them a safe place to gather.

But libraries also face problems, such as book bans and budget cuts. Even so, many people still trust and love libraries. Young people feel that libraries are one of the last public spaces where everyone is welcome.

(147 words)

問 2 What type of “third place” do you think is currently popular in Japan and what changes could be made to improve that third place? (25 点)

問 2 モデル解答：

In Japan today, many young people use cafés as their “third place.” They go there to study, talk, or relax. Cafés feel warm and friendly, and many have Wi-Fi. But cafés also have problems. They are often crowded, and people feel pressure to buy more drinks. Some cafés are also noisy, and it can be hard to focus.

To make cafés better as “third places,” a few changes could help. First, cafés could offer a simple “study plan” with one low fee. This would allow students to stay longer without buying many drinks. Second, cafés could make quiet areas and talking areas. This helps both groups feel comfortable.

Cafés could also add more big tables for people who want to meet others. If cafés make these changes, they can become more welcoming and useful “third places” for many young people in Japan. (168 words)

**【解答を導く標準的な過程】(問題 2)**

要約では、まず英文全体の主題をしっかりと把握することが必要である。文章は、公共図書館が若者にとってどのように “third place” として機能しているかを中心に述べており、読書を目的としない利用の増加や、SNS 文化との結びつき、無料で安心して過ごせる空間としての魅力が強調されている。また、ブックバンや予算削減といった政治的な問題にも触れられており、これらが図書館を取り巻く環境に影響している。個々のエピソードは要点抽出の妨げになるため必要最小限にとどめ、利用増加の背景、図書館が果たす役割、図書館が直面する課題という三つの流れに整理するとまとめやすい。これらを踏まえ、150 語以内で論理的に内容をつなげることが求められる。

意見記述の問題では、まず “third place” の定義を理解し、家庭や職場以外で人々が集まる共有

空間という概念を押さえることが出発点となる。そのうえで、日本社会において自分が取り上げる具体的な “third place” を一つ明確に選び、どのように利用されているかを説明しながら改善点を二つ以上示す必要がある。文章構成は、主張を示し、理由を述べ、例を加え、最後にまとめるという基本的な流れに沿うと読み手にとって理解しやすくなる。さらに、課題文で述べられた図書館の役割と自分の議論を軽く結びつけることで、内容に一貫性が生まれ、説得力が強まる。

## 「出題の意図」

選抜区分	2026年度（選抜区分：編入学試験） 外国語学部 英米学科（科目名：英語）
<p>【1次試験】1次試験は、専門性の高い英文を正確に読み取り、論点を整理し、自らの見解を英語で表現することができるかを確認するためのものである。本学科における授業では高度な読解力・批判的思考力・英語表現力が求められるため、編入学試験ではそれらの基礎となる総合的な英語運用能力の確認を目的としている。</p> <p>問題1.</p> <p>【出題の背景・出典】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>本試験で扱う文章は、河原啓子「(私の視点) AI時代の生きる鍵『考えた』ことに存在意義」という日本語の論考をもとに作成したものである。生成AIの登場を背景に、人間が「考える」行為の独自性と価値について論じた内容であり、抽象的な概念や哲学的な視点が含まれるため、受験者には一定の読解力が求められる。本学科では、日本語で書かれた社会・文化的テキストを理解したうえで、その内容を英語で表現したり、自らの意見を論理的に述べたりする能力が必要であり、本問題はそうした基礎的な学力を測るための適切な素材となっている。</li></ul> <p>【求める能力】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>問1では、日本語で書かれた文章の主張と論理展開を正確に理解し、その内容を150語以内の自然で簡潔な英語で要約する力が求められる。細部の描写にとらわれることなく、筆者が提示する中心的論点である「AIと人間の思考の存在意義」を適切に抽出し、英語として一貫した形に再構成する技能が重視される。</li><li>問2では、課題文で扱われたテーマを踏まえつつ、「AIデジタルアートを美術館で展示すべきか」という問いに対して、明確な立場を示し、複数の理由を挙げながら英語で論理的に意見を述べる力が求められる。主張と根拠の関係が明確であること、文脈に適した語彙を用いること、そして説得力ある段落構成で英文を組み立てられることが評価のポイントとなる。</li><li>この二つの異なる課題（要約と意見表明）を通じて、読解力・要約力・批判的思考力・英語による記述力といった総合的な英語運用能力が測定される。</li></ul> <p>【解説】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>課題文は内的思索や沈黙考など抽象的な概念が多く、文章全体の主張をつかめずに前半の芸術に関する具体例に偏る答案が見られる可能性がある。特に、後半で提示される「AIには蓄積されない人間の思考の痕跡」という核心部分を捉えられない場合、要約として不十分と判断される。適切な要約では、<ol style="list-style-type: none"><li>AIが生成する回答と人間の思考がもつ固有の質的差異</li><li>「考えた」という事実そのものの存在意義</li></ol>を文章全体の論旨として整理し、英文で簡潔に再構成している。</li><li>意見を述べる問2では、課題文との関連を踏まえつつ、AIアート展示の是非について自分の立場を明確にし、理由を複数提示して論理的に展開できているかが評価のポイントとなる。単な</li></ul>	

る好き嫌いや一般論にとどまらず、具体例や社会的背景と結びつけて説得力を高めることが重要である。語法の正確さはもちろん、主張・根拠・結論の構成が明確で読みやすい英文になっていることが望ましい。

## 問題 2.

### 【出題の背景・出典】

・本試験で扱う英文は、イギリス紙 *The Guardian* に掲載された記事をもとに、公共図書館を利用する Z 世代の特徴や、図書館が “third place” として果たす役割について論じた内容である。文章では、図書館が読書の場にとどまらず、孤独感の緩和やコミュニティ形成の拠点として機能している点が示されており、若者文化、デジタル社会、さらには書籍禁止や予算削減といった政治的問題にも言及されている。現代社会における公共空間の意義を理解し、そのうえで日本の “third place” について自らの視点を論理的に述べる力を測定するのに適した素材となっている。

### 【求める能力】

・問 1 では、与えられた英文の主張と論理展開を正確に把握し、その内容を 150 語以内の自然な英語で簡潔に要約する能力がはかれる。筆者が提示する中心的論点である公共図書館の再評価や “third place” の重要性を捉え、本文の全体像を損なうことなく整理できているかが重要となる。

・問 2 では、課題文に示された “third place” の概念を踏まえ、日本社会において現在若者が利用する “third place” を挙げ、その改善点について自分の意見を論理的に述べる能力が求められる。自らの立場を明確にし、複数の根拠や例を適切な語彙と段落構成で示すことが評価の対象となる。

・要約と意見表明という二つの異なる課題を通して、英文読解力・要約力・批判的思考力・英語による記述力など、英米学科で求められる総合的な英語運用能力がはかれる。

### 【解説】

・課題文は情報量が多く、Z 世代の文化的特徴、図書館の社会的役割、デジタル文化との関係、政治的・制度的問題などが複合的に提示されているため、特定のエピソードに偏った要約や、中心論点を取り落とした要約が見られる可能性がある。特に、図書館が若者にとっていかに “third place” として機能しているかという主要テーマを見逃すと、要約としては不十分となる。

・適切な要約では、(1) 図書館が若者にとって社会的・心理的な役割を果たしているという点、(2) 若者文化と図書館の結びつき、(3) 図書館を取り巻く課題や社会的背景、が簡潔かつ論理的に整理されている。

・問 2 では、課題文で提示された “third place” の定義を踏まえずに単に自分の好みを述べる答案や、改善点が漠然としている答案は、論理性を欠くものとして評価が下がる。自らが取り上げる “third place” が実際に若者にどのように利用されているのか、またどの点が課題でどのように改善できるかを明確に示すことが重要である。

### 【解答のためのアドバイス】

(1) 問題文の要求に忠実であること。問 1 では要約に徹し、問 2 では “third place” の選択と

改善点の提示に集中すること。

(2) 論理的構成を意識すること。主張・理由・具体例・結論を明確にし、読み手が理解しやすい英文を書くこと。

(3) 語数制限を守ること。要約では150語以内に収まるよう内容の取捨選択を行うこと。

(4) 語法・語彙の正確さに注意すること。とりわけ、課題文の概念を表す語 (library, community, third place など) は文脈に沿って使用すること。

## 「解答・解答例等」「出題の意図」

選抜区分	2026年度（選抜区分：編入学試験） 外国語学部 英米学科（科目名：面接）
<p data-bbox="215 344 446 376">【評価のポイント】</p> <p data-bbox="199 392 1404 515">面接試験は、面接官との質疑応答を通して、受験者の英語による総合的なコミュニケーション能力を評価するものである。質問内容や応答の展開は受験者の回答に応じて変化するため、あらかじめ一つの模範解答を提示することはできない。</p> <p data-bbox="199 577 667 609">面接では、主に以下の点を評価する。</p> <ol data-bbox="199 622 1404 840" style="list-style-type: none"><li>1. 質問の内容を正確に理解し、迷うことなく的確に応答できること。</li><li>2. 標準的な英語を用い、適切な語彙、文法、具体的な内容を含めて、自分の考えを自然に述べるができること。</li><li>3. 聞き取れない場合には問い直すなど、会話を途切れさせず、面接官とのやり取りを通して積極的にコミュニケーションを行うことができること。</li></ol> <p data-bbox="199 902 1404 1025">以上の理由により、面接試験については固定されたモデル解答は設定しない。面接は開かれた質疑応答形式で行われるため、受験者には、準備した台詞に過度に依存するのではなく、質問に応じて柔軟かつ具体的に答える力が求められる。</p>	